

大阪調査1部

大阪調査2部

大阪調査3部

大阪営業部

堺支店

奈良支店

和歌山支店

【推しのCompany】

～調査員 平田晃寛の
オススメ企業～

株式会社近正

TDB企業コード：570070210

法人番号：8120101001860

所在地：堺市西区築港浜寺西町2

TEL：072-268-0118

代表：和田 祥一氏

従業員数：50名

事業内容：果樹園芸用ハサミなど各種ハサミの製造

HP URL：https://www.chikamasa.co.jp/



代表取締役社長 和田祥一氏

今回紹介する(株)近正は、刃物生産が盛んな堺で創業し、ハサミ(鋏)一筋で100年を超える業歴を積み上げてきた。時代に合わせて製造方法を変え、その時々ニーズに応じた製品開発によって信頼を獲得し、インバウンド需要による国産刃物人気もあって海外のユーザーからも高い評価を受けている企業だ。

◆職人の手作業から ロボットによる生産へ

ハサミ職人の下で修行していた和田庄治郎氏が独立し、1910年(明治43年)3月に「和田庄鋏製作所」の屋号で創業。当時は、職人の手作業による刃金付けなどの伝統的な手法で、生花ハサミを製造していた。1968年(昭和43年)12月に法人化。2代目となった和田順太郎氏は機械による量産化を目指し、プレス機を使用した「冷間鍛造」に切り替えるとともに、自動研磨機を導入するなど製造手法も大きく発展させてきた。

歴史ある近正にとって、ハサミ業界初のロボットによる製造に踏み切った1990年は、最も大きな転機となった。現代表の和田祥一氏は、入社前に包装機械の設計に従事していた経験を生かし、ハサミ製造の自動化を推進。現在、高砂工場(大阪府高石市)も含めて60台以上の量産ロボットが稼働しており、無人での24時間製造が可能となっている。

◆製造面以外の取り組みも 収益力向上に貢献

2000年代に入ると、海外向けの販売にも本格的に取り組むようになった。果樹栽培が盛んなEUや北米、東アジアを中心に市場が広がりを見せ、現在は売上高のおよそ半分を占めるまで海外向けが増加している。

2014年12月に、堺と同じく刃物製造が盛んな新潟県三条市にあった営業所を新潟県燕市へ移設して、物流倉庫を併設。翌年支店に昇格させ、国内の営業および物流機能を集約することで業務の効率化を図った。また2021年4月には、ハサミのハンドル部品を製造していたプラスチック成形会社を買収。新たに和泉工場として稼働させたことで、専門性の高いネジやバネなどを除いた約9割の部品を内製できるようになり、収益力が一層向上。2023年11月に堺税務署から優良申告法人の表彰状も授与されている。

◆ユーザーの声を聞き、人を育てる

主力の果樹園芸用ハサミは、専門店や農協(JA)、ホームセンター、インターネットなどで購入されることが多い。ただ、近正の営業活動は、小売店や商社への働きかけと同様に、エンドユーザーと直接関わっているのが特徴だ。「合点倶楽部」と称する会員制度を立ち上げて、定期的な製品情報の発信やモニタープレゼントなどの企画を行いながら、ユーザーの意見や要望を把握することに注力し、製品の開発・改良へ生かしている。全体を軽量化した太枝切り鋏(ロッパー)なども、こうした活動から生まれたもの。

製造の自動化・無人化により、従業員の労働負荷は以前に比べて大幅に軽減されてきたが、さらに生産効率を高める必要があり、製造ラインの段取り替えのスピードアップがカギとなる。例えば、実際の作業の様子を録画し、行動を分析することで無駄を極限まで省く方法を従業員が自ら考え、検証を重ねるといった取り組みも行われている。

そうした人的資本の育成も重ねながら、「人」を大切に経営を今後も進めていく方針だ。
(堺支店調査第2部 平田晃寛)